

平成 31 年度（令和元年度）

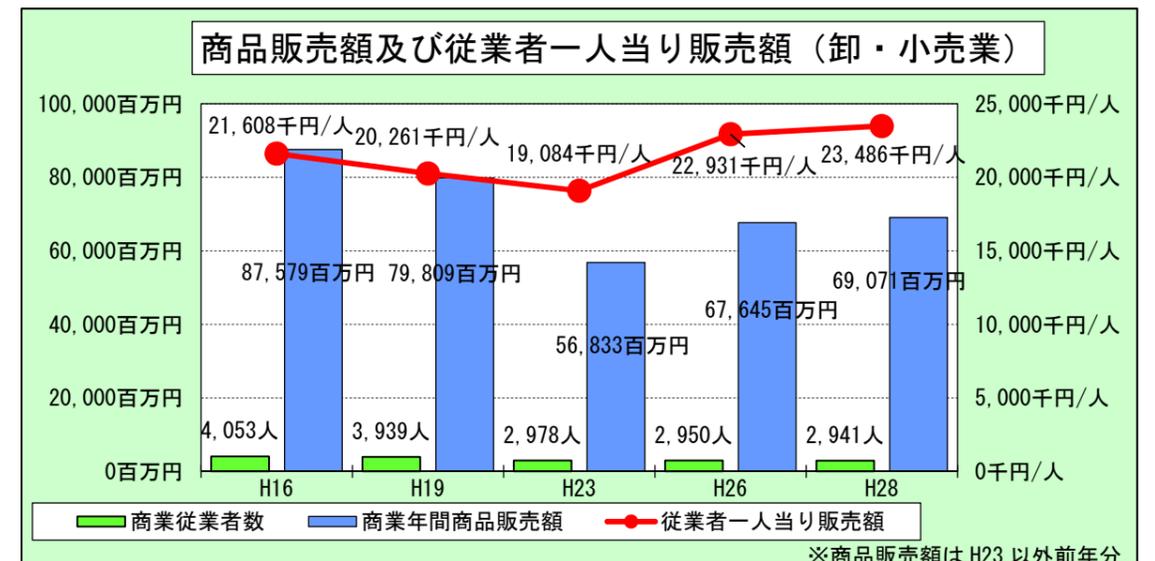
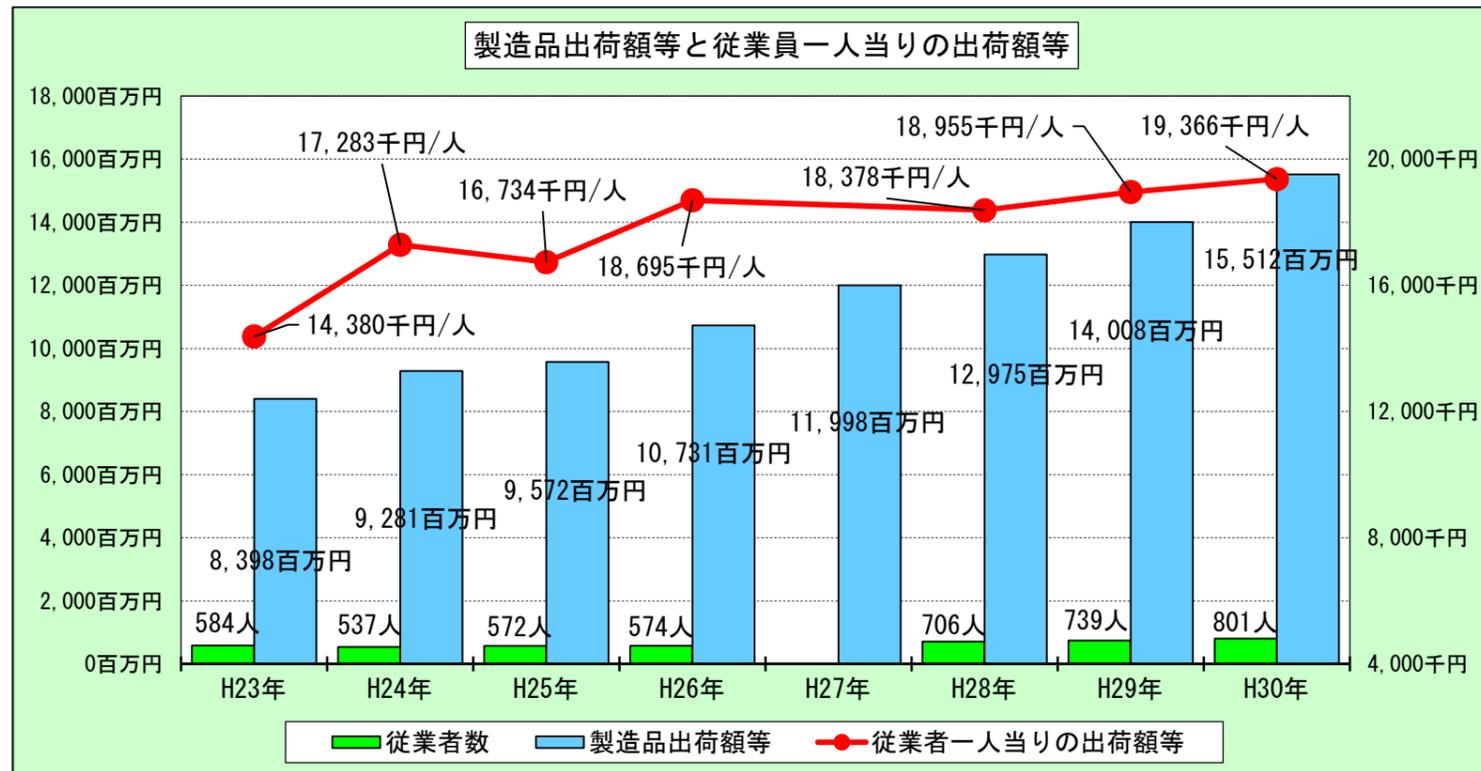
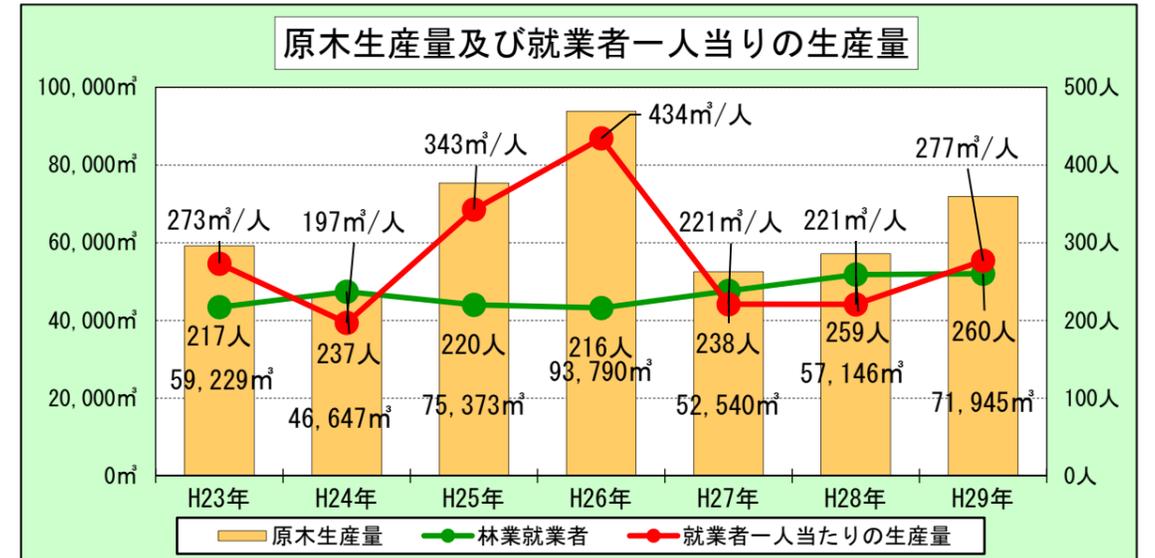
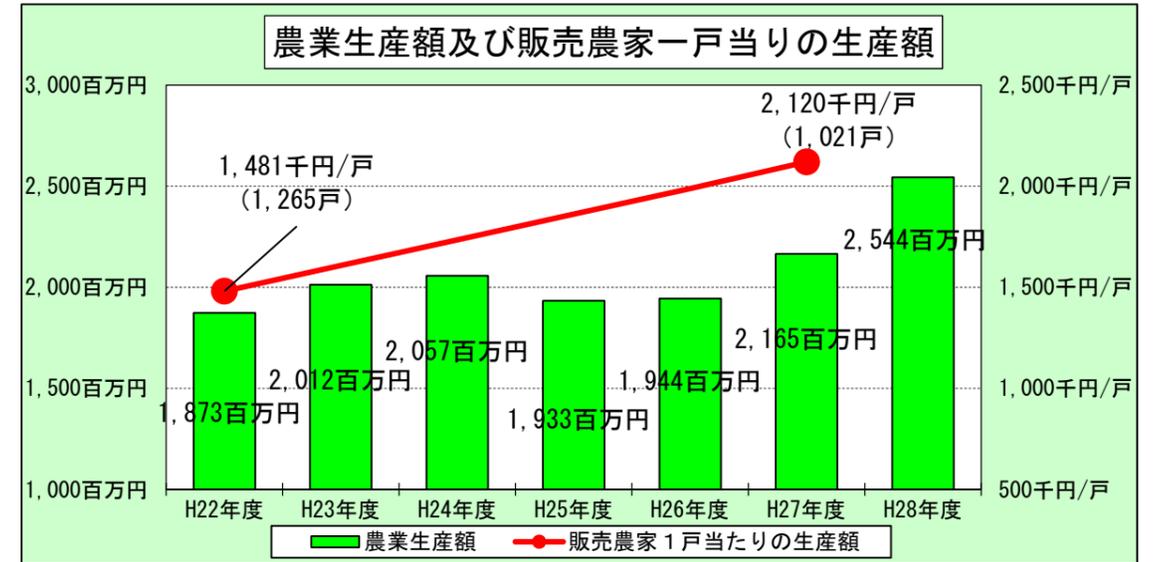
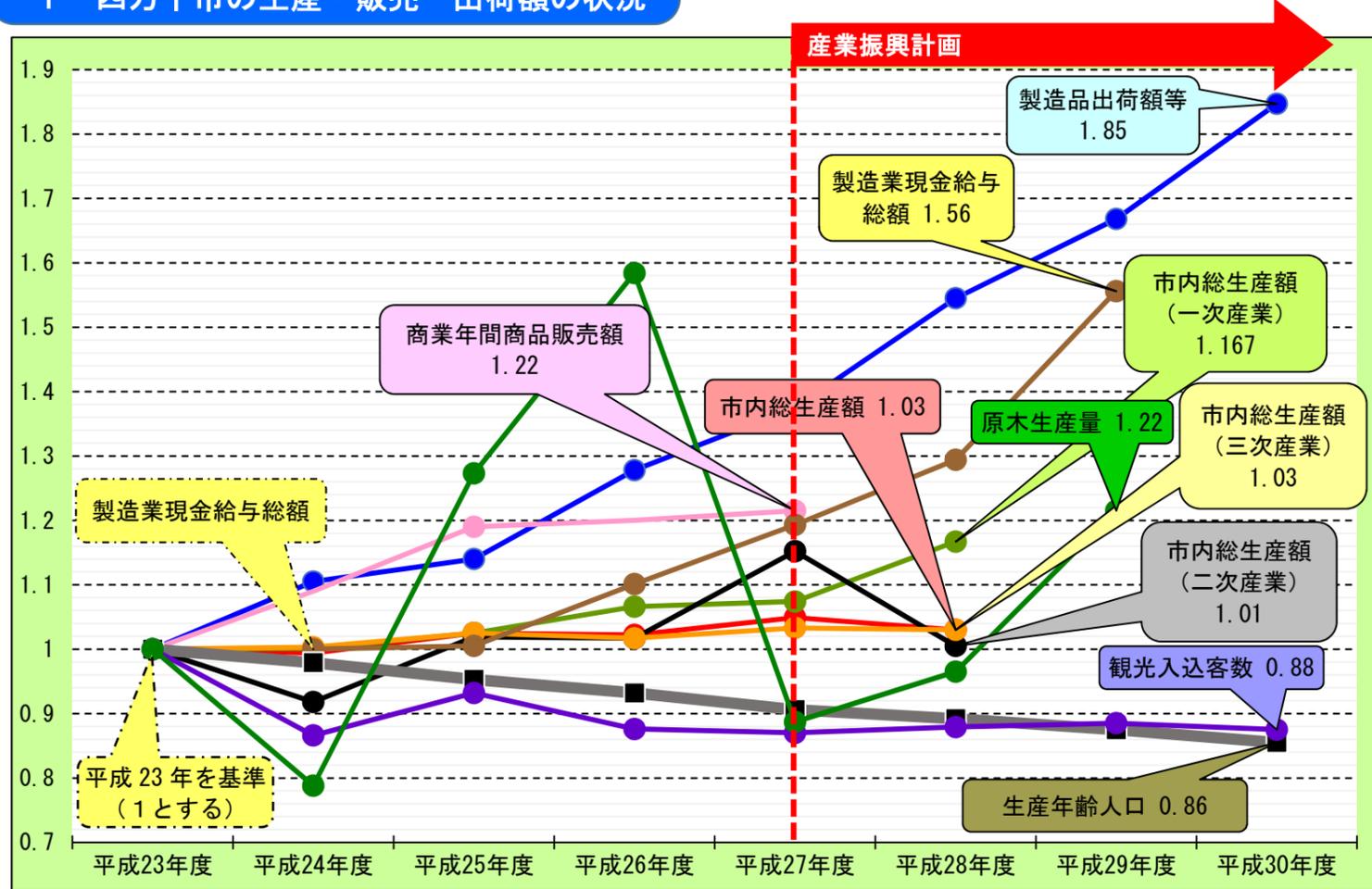
第 3 回四万十市産業振興計フォローアップ委員会



- 1 四万十市の産業状況等
- 2 四万十市の人口
- 3 各産業分野の進捗状況

1 四万十市の産業状況等

1 四万十市の生産・販売・出荷額の状況

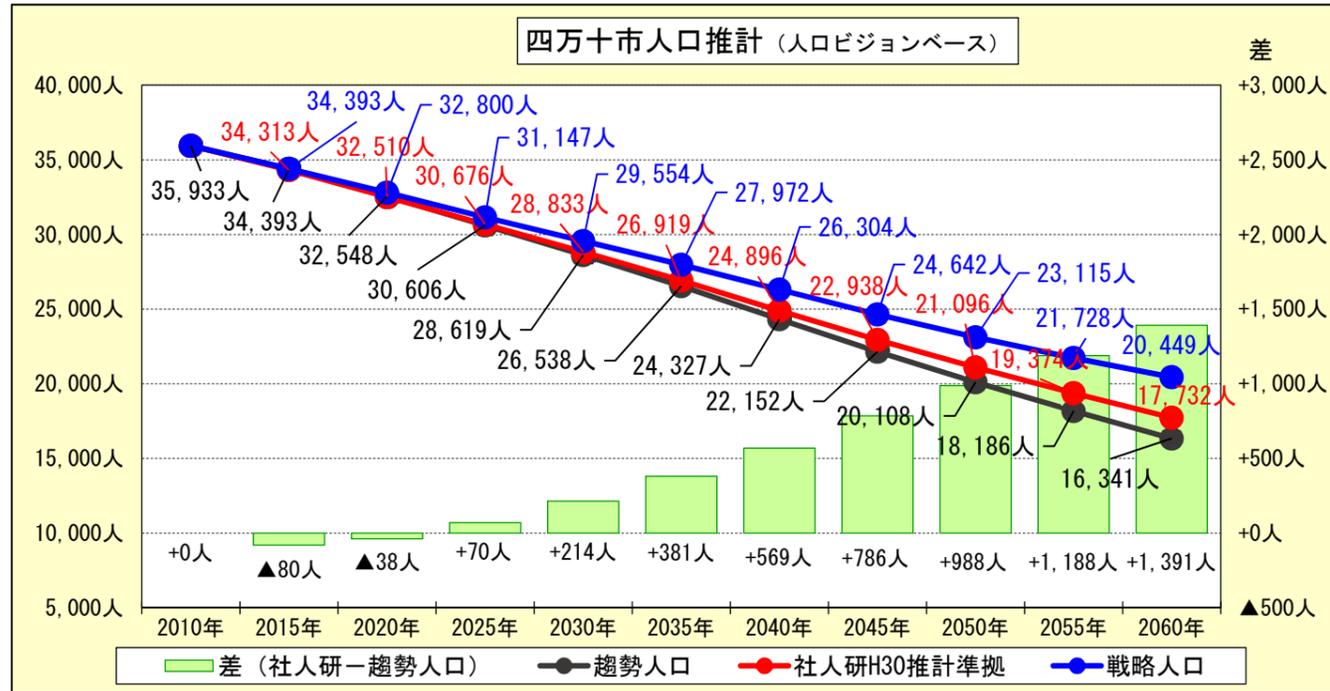


2 四万十市の人口①

1 高知県下の人口推計の状況について

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が平成25年3月（H22国調ベース）と平成30年3月（H27国調ベース）に行った人口推計を高知県下で比較すると、H25年人口推計よりもH30年人口推計で人口が増加傾向の自治体は、2020年時点で11自治体、2040年時点で6自治体となっている。

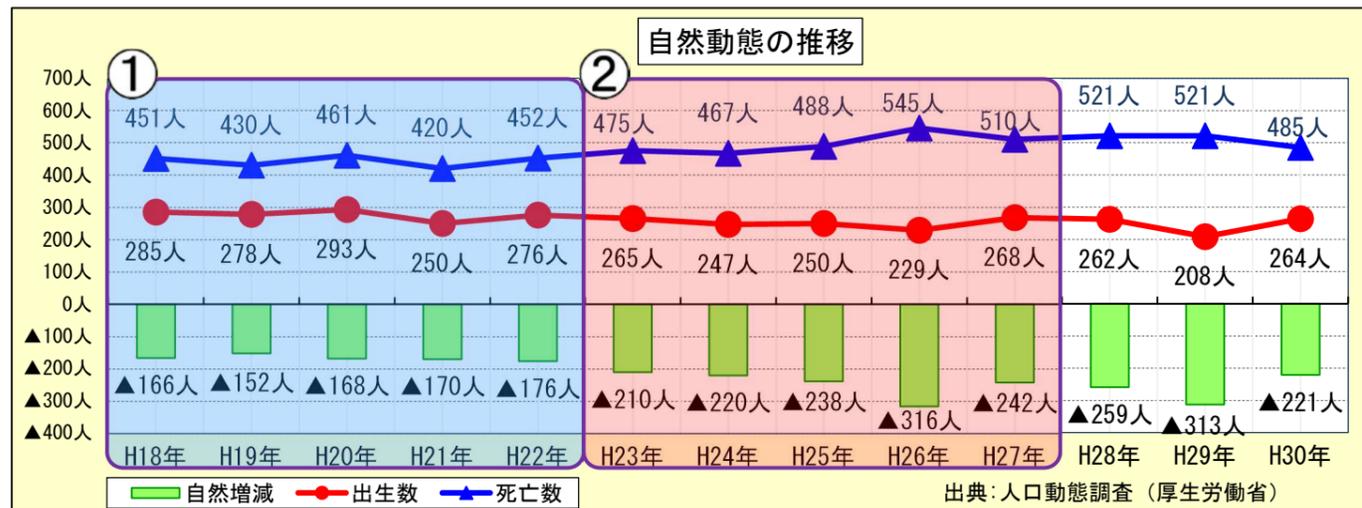
四万十市も人口推移で人口が増加傾向の自治体の一つであり、「四万十市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の趨勢人口と戦略人口の推計と比較すると下図のようになる。（社人研が平成30年3月に公表した人口推計は2045年までであるが、国が提供する人口推計ツールを使用し、社人研の推計をもとに2060年までの推計を独自に行った。）



2 四万十市の人口推計の状況について

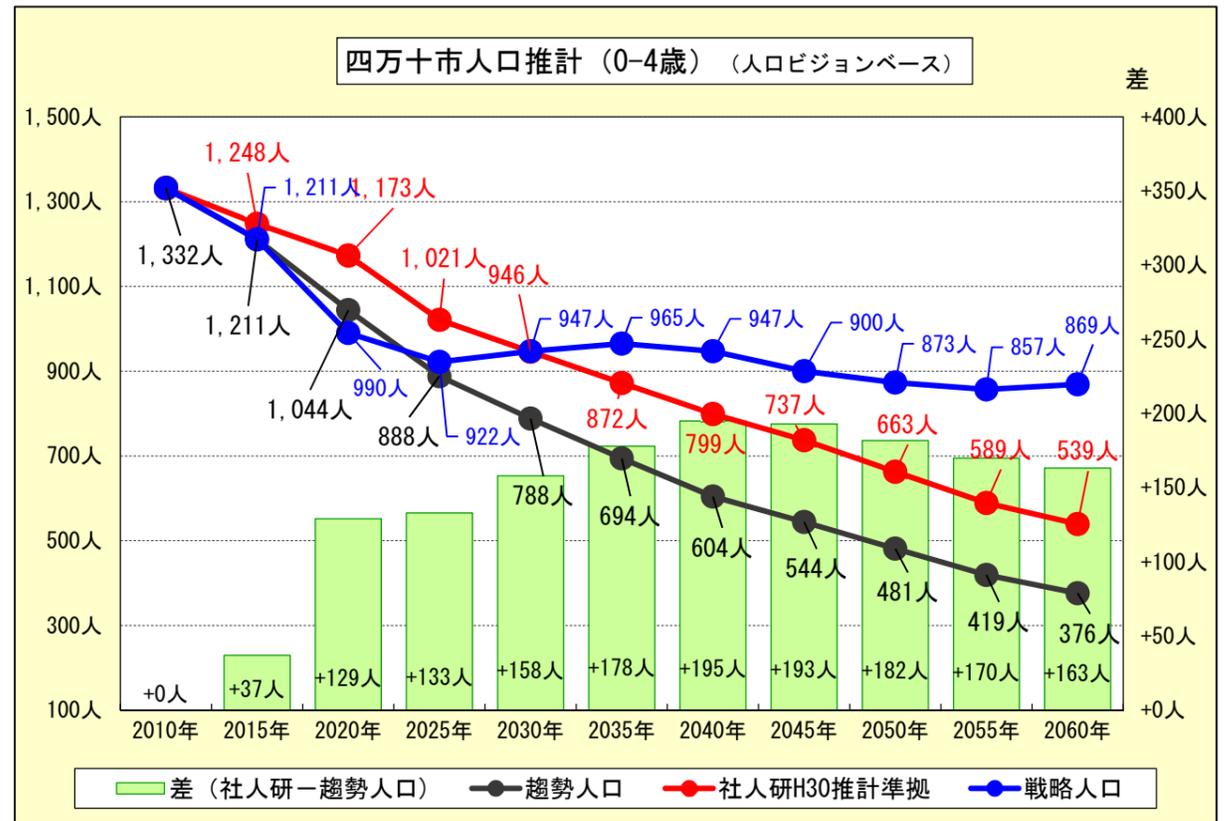
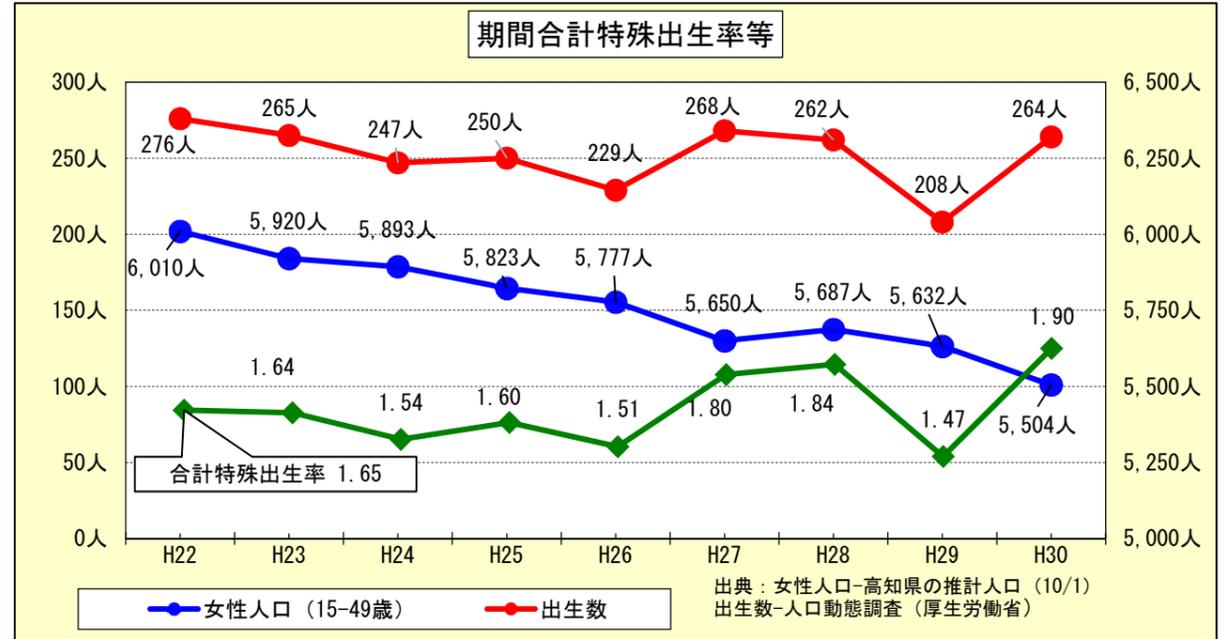
(1) 自然動態での比較

H22国調までの5年間（H18～H22、下表①）とH27国調までの5年間（H23～H27、下表②）の出生数を人口動態調査（厚生労働省）で比較すると、出生数は減少しているが、県の推計人口等から算出した合計特殊出生率は一定水準を保ち、H22国調基準の推計値を上回っている。死亡者数も出生同様に比較すると増加しているが、H22国調基準の推計値よりは下回っている。そのためH27国調基準の推計では、自然動態の推計値が上方修正されている。



自然動態比較	出生数	死亡数
①人口動態調査（H18～H22）	1,382人	▲2,214人
②人口動態調査（H23～H27）	1,259人	▲2,485人
③社人研推計により算出（H22国調基準；H22.10～H27.9）	1,211人	▲2,510人

※人口動態調査は、各年1月～12月の合計。社人研は、国調基準のため各年の10月～9月の移動となる。



2 四万十市の人口②

(2) 社会動態での比較

H22 国調までの5年間（H18～H22、下・右表④）の社会増減と H27 国調までの5年間（H23～H27、下・右表⑤）の社会増減を住民基本台帳人口移動報告（総務省）により比較すると両期間とも社会減となっているが、H27 国調までの5年間で大幅に改善している。そのため、H30 公表の推計値では、15歳から64歳までの純移動率を中心に上昇修正されており、女性の移動が改善されることにより、0～4歳人口が出生と合わせ H25 年公表値よりも上方修正されている。

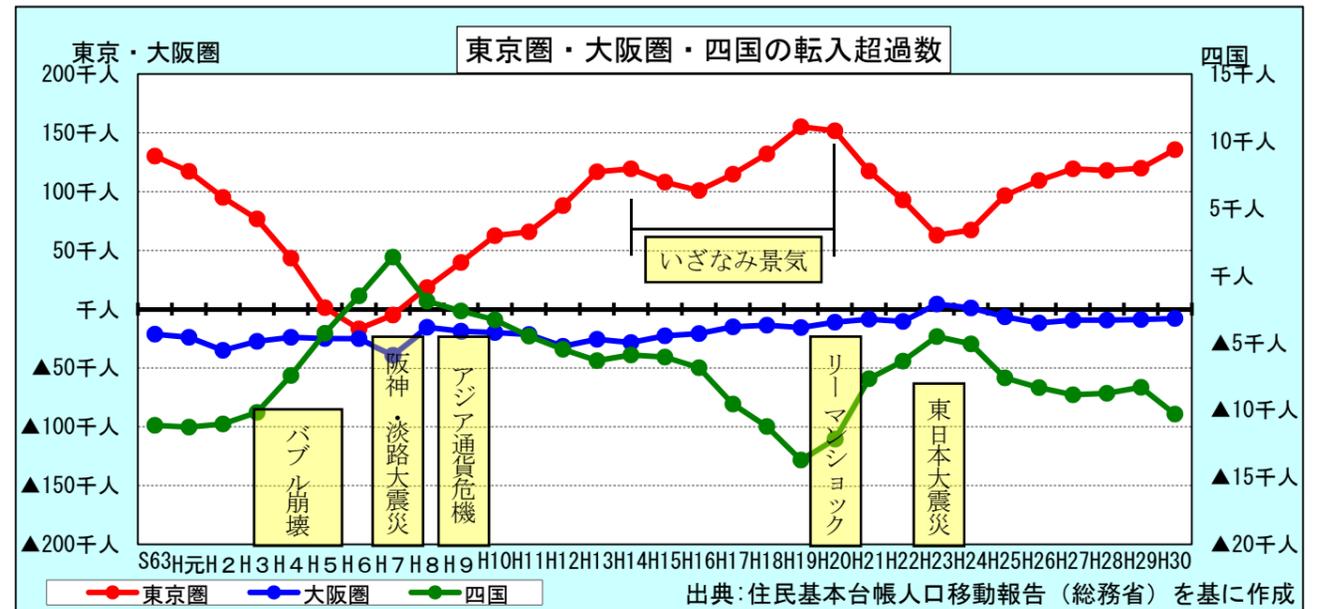
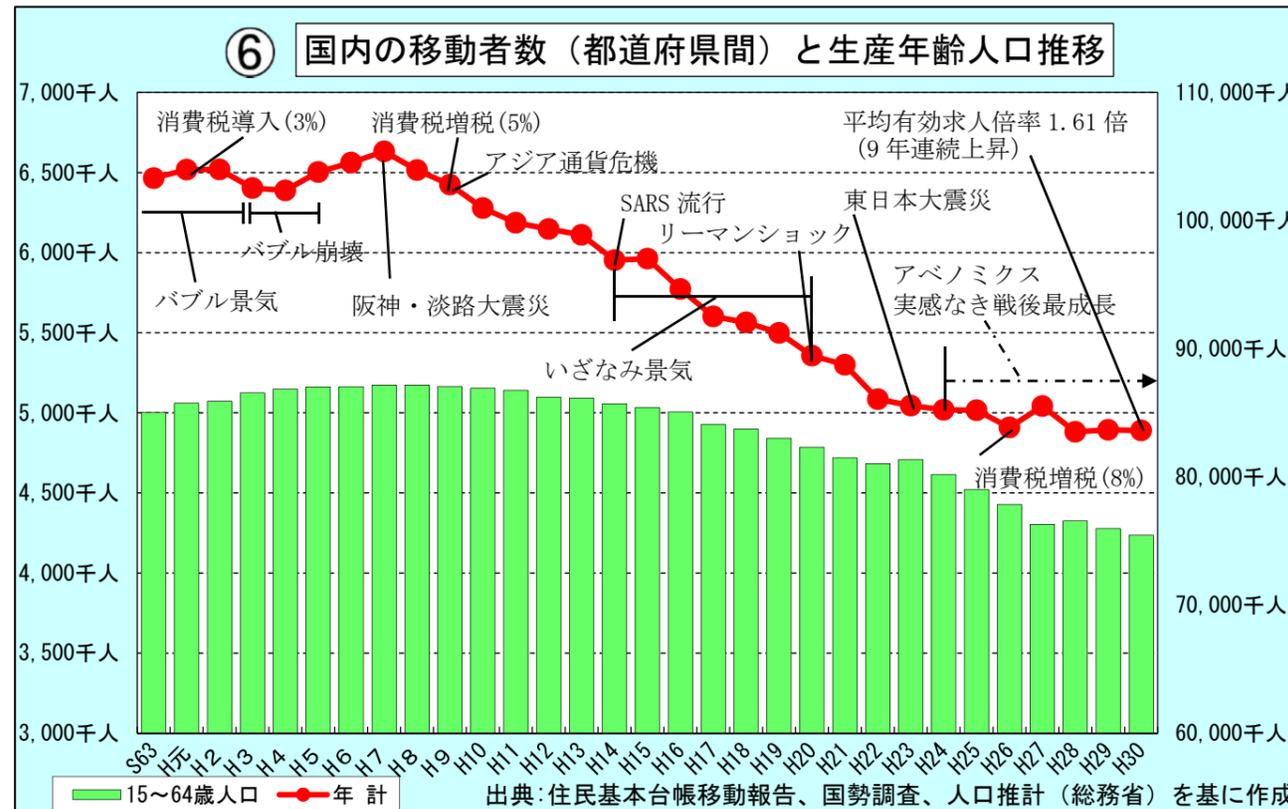
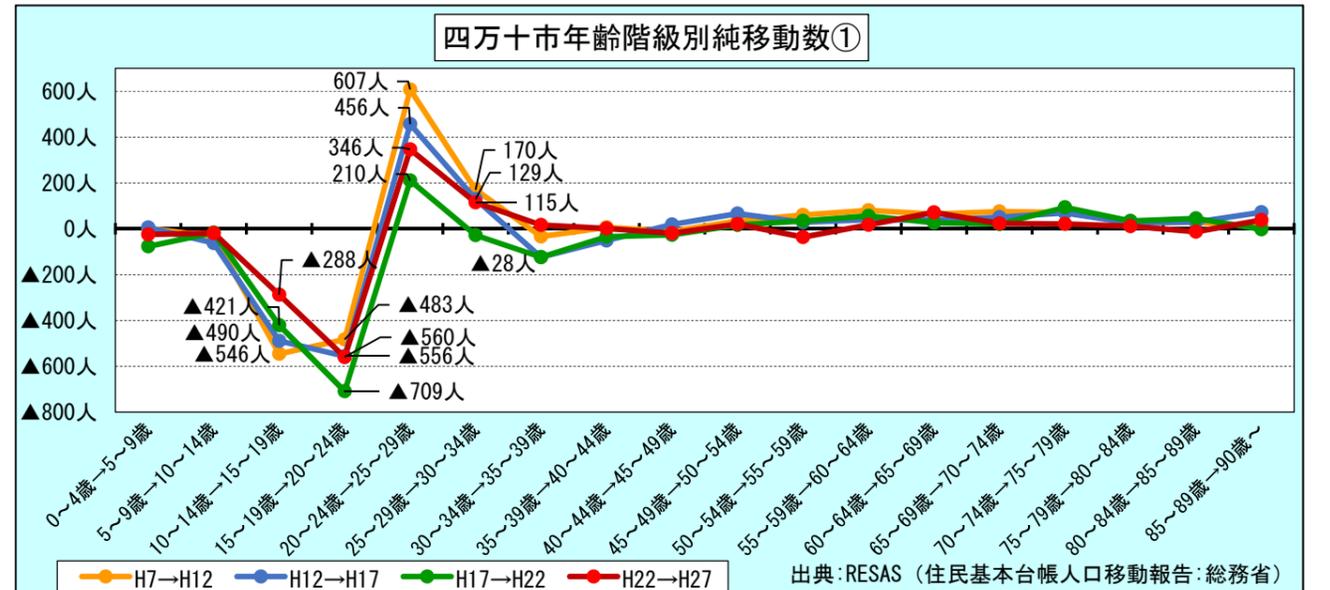
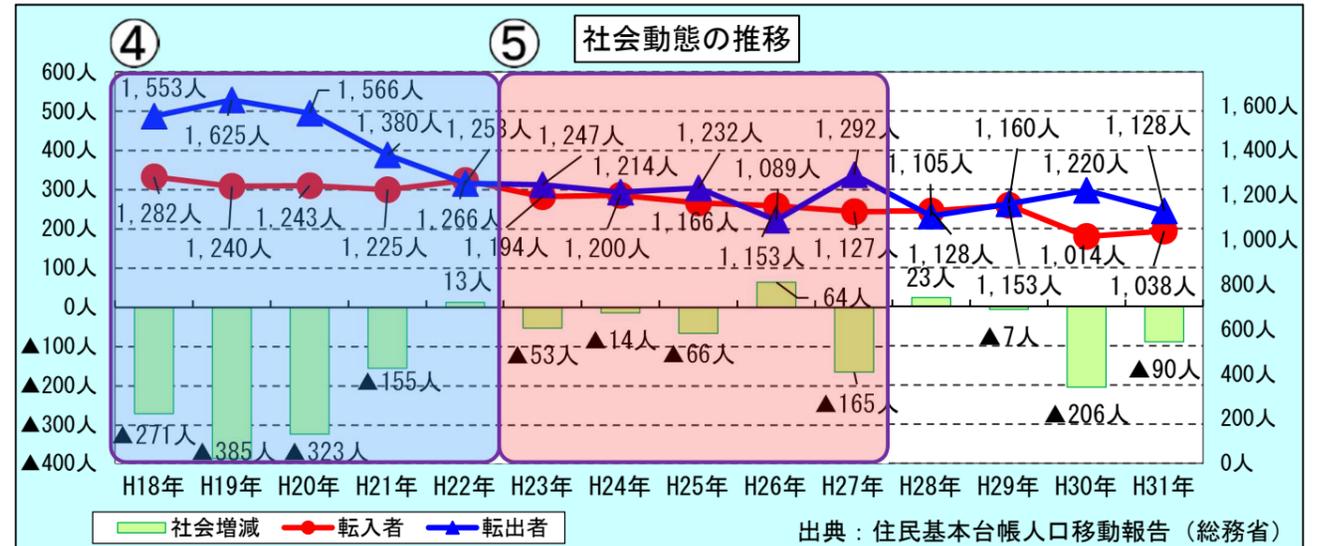
社会動態比較	転入	転出	社会増減
④人口動態調査（H18～H22）	6,256人	7,377人	▲1,121人
⑤人口動態調査（H23～H27）	5,840人	6,074人	▲234人
⑥社人研推計により算出（H22国調基準：H22.10～H27.9）	—	—	▲666人

※人口動態調査は、各年1月～12月の合計。社人研は、国調基準のため各年の10月～9月の移動となる。

社会減が抑制されたのは、移動の推移をみると平成21年頃から転出数が減少していることが大きい。これは2008年（H20年）のリーマンショック及び2011年（H23）に発生した東日本大震災の影響による全国的な社会移動の減少と同じ推移である。これまでも好景気の期間は地方から東京圏等への転出が多くなる傾向があり、景気の谷に入る時期（オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなど）に移動数が減少（下図⑥）している。四万十市の転出の多くは、東京圏（東京・埼玉・千葉・神奈川）、大阪圏（大阪・兵庫・京都・奈良）及び四国となっており、東京・大阪圏の転入超過する時期と四万十市の転出者数が増える時期は同じである。東京・大阪圏への転出が減少する時期は、全体的に移動数は減少するが四国の転入の割合が増える傾向にある。

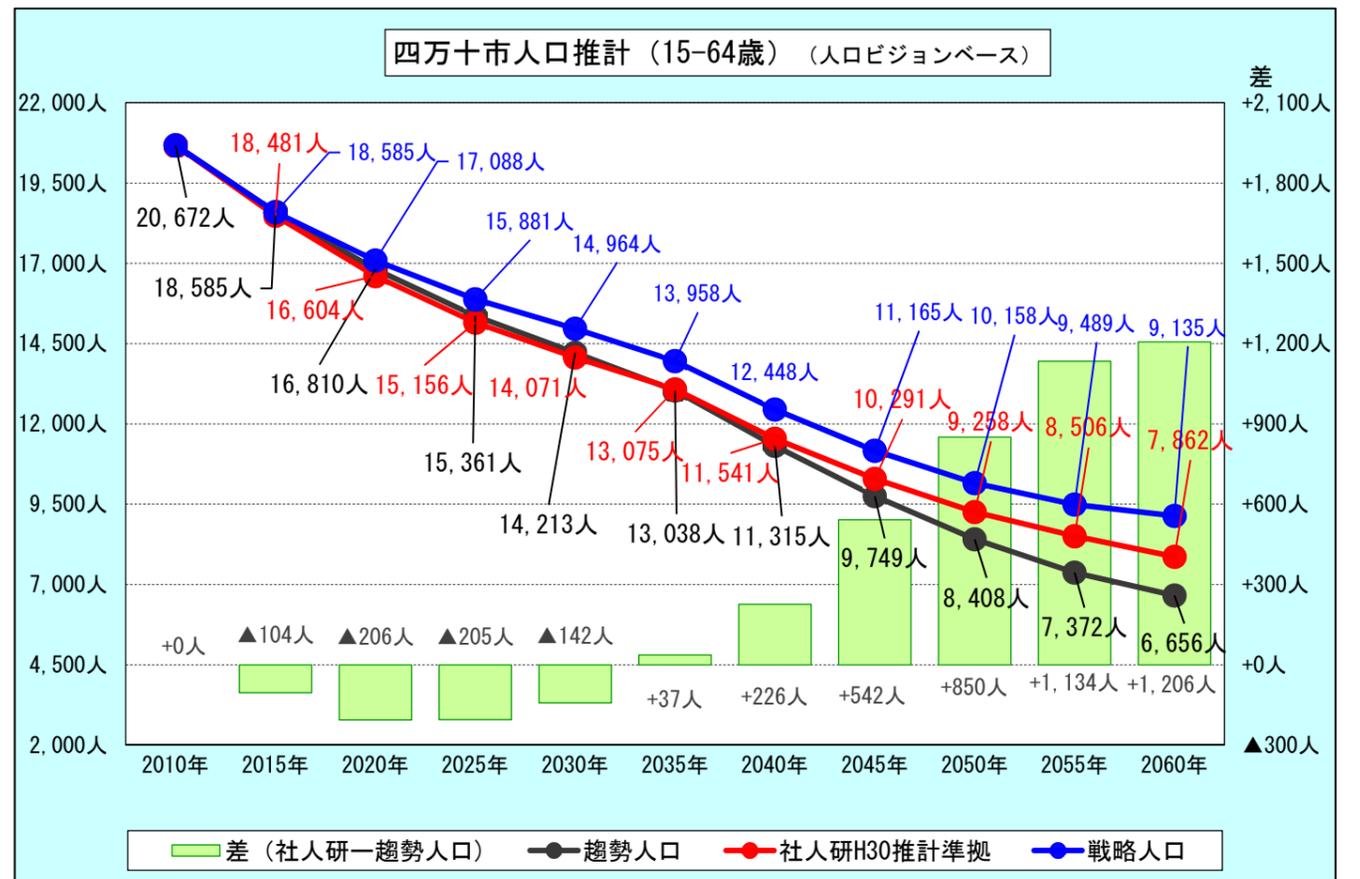
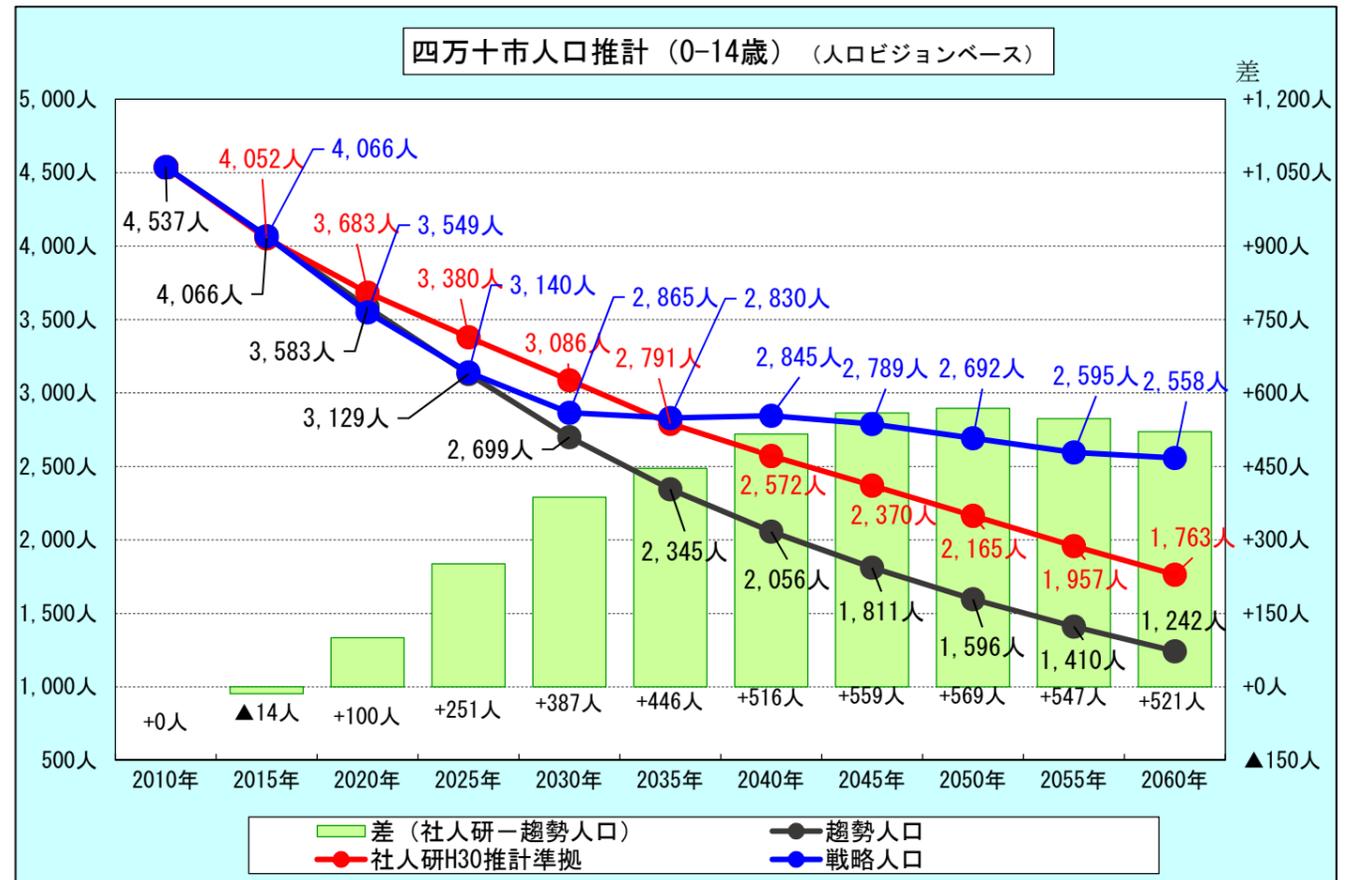
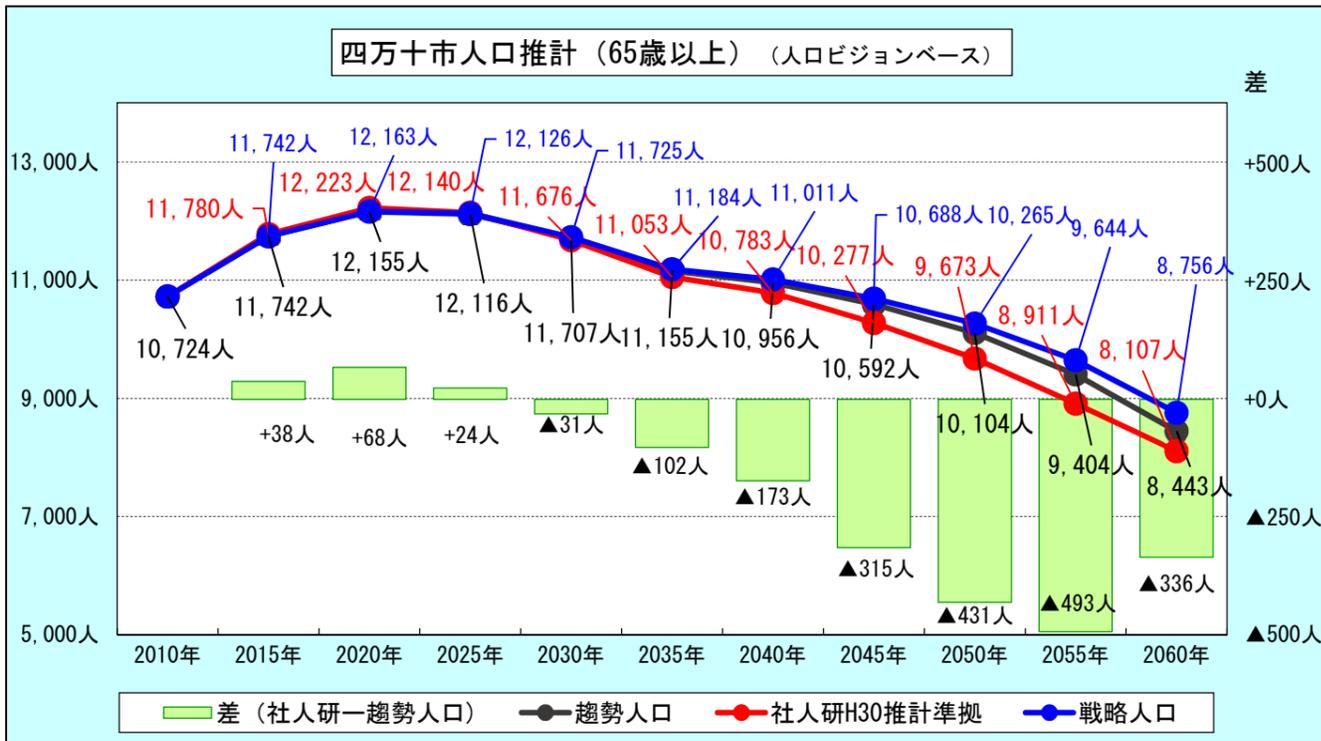
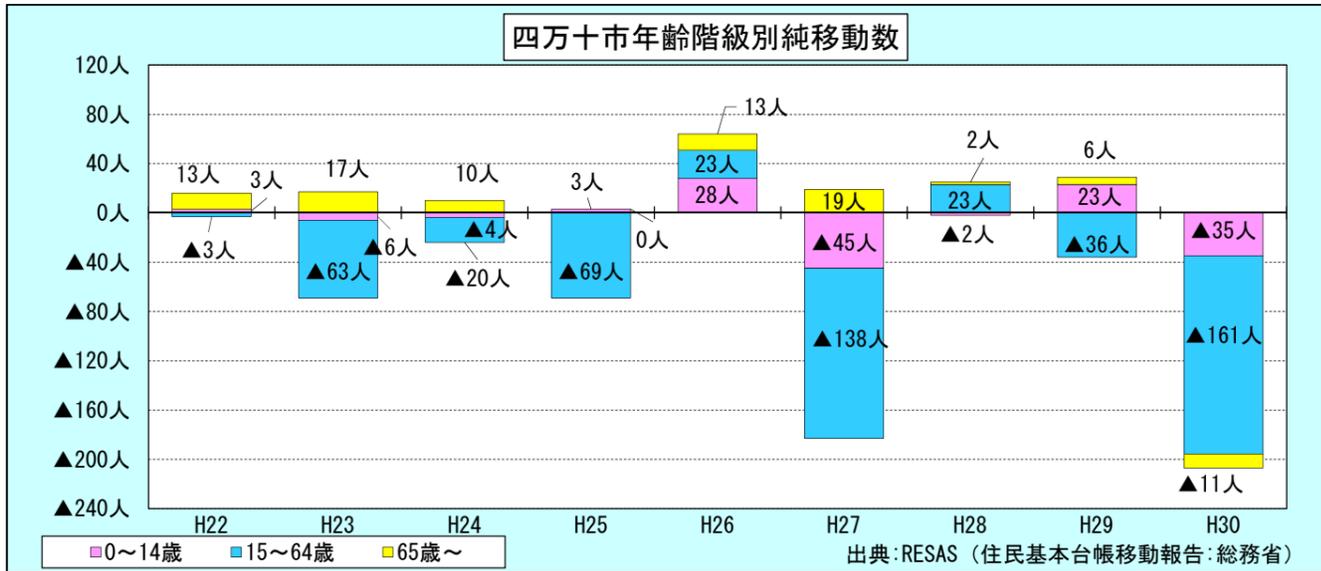
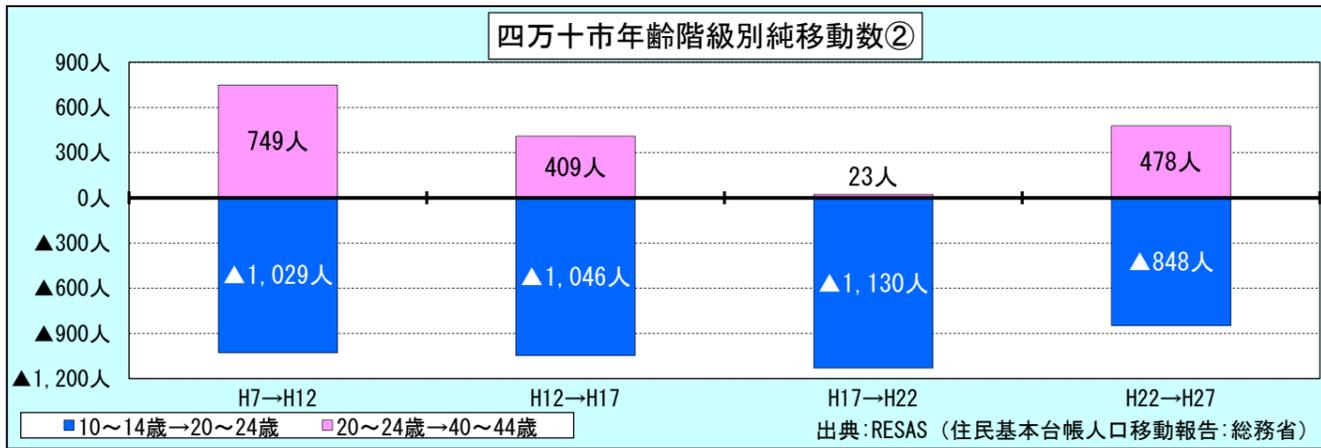
近年では転入が減少傾向であり、進学や就職等で一度市外に出て行った方をどうやって再び四万十市に戻ってきてもらうかが課題になる。

報道によれば2019年（H31）の東京圏への転入超過は14万8,783人で前年より8,915人増加し、3年連続増加している。三大都市圏でも東京以外は人口が流出し、転出超過は39道府県にのぼる。（R2.2.1:高知新聞）



※東京圏：東京、埼玉、千葉、神奈川 大阪圏：大阪、兵庫、京都、奈良

2 四万十市の人口③



3 平成31年度（令和元年度）の各産業分野の動き①（主なもの）

分野	平成31年度（令和元年度）	令和2年度	
農業分野	<p>1 ぶしゅかん普及促進【P. 4、15】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地検討会、四万十方式栽培マニュアルに沿った栽培管理指導等生産量の拡大と併せて品質向上の取り組みを加速 <p>2 栗の振興【P. 4、5、15、16、18、22】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十栗生産加工販売促進再生事業（しまんと美野里）縮間伐、集荷、新植など 栗暮プロジェクト（橘地区実証農園：農業公社）、集荷（JA高知県） <p>3 わさび実証実験事業【P. 16】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培現地検討会、4品種（正緑、グリーンサム、真妻、天城にしき）の収穫（H30～H31） 食べ比べ試食会（ワビ茶漬け、ワビマヨネーズソースのサドイッチ等5品） <p>4 農産物ブランド化（しまんと農法米、40010日プロジェクト）【P. 1、5】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販促活動の継続（販促：まるごと高知、商談会：お米マッチングフェア） 具同小5年生による農法米の米粉を使った商品開発（かりんとう3種：プレーン、しょうが、玉ねぎ） <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 有望品目産地化（レンタルハウス等の施設整備など） 環境保全型農業の推進（環境保全型、有機農業等支援など） 担い手育成（新規就農、認定農業者、集落営農支援など） 農地利用、耕作放棄地対策（農地中間管理事業、基盤整備、直接支払・多面的事業など） 	<p>●ぶしゅかん 新植面積H30:10.9ha⇒H31:11.7ha H31目標12ha 生産量H30:28.1t⇒H31:21t(市内) H31目標54t</p> <p>●栗 栽培面積H29:45.8ha⇒H30:48.0ha H31目標47ha 生産量H30:16.1t⇒H31:19.6t H31目標60t</p> <p>●しまんと農法米 栽培面積H30:10.22ha⇒H31:15.27ha H31目標20ha 生産量H30:33.2t⇒H31:44.25t H31目標88.4t</p>	<p>■ぶしゅかん産地化推進事業【地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規定植、獣害対策、ブランド化、栽培指導等業務委託など <p>■栗暮プロジェクト【地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル園、縮間伐指導、平場栽培など <p>●米ナスの振興【地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販路開拓、広告宣伝など <p>●「わさび」の栽培実用化</p> <ul style="list-style-type: none"> 種の絞り込み等による2作目の栽培、産地確立に向けたブランディング・販路開拓 <p>■農産物ブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> 販促活動など <p>■先端技術を活用した園芸施設や園芸システム等の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業等の推進 <p>■集落営農の広域化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落営農の広域化の仕組みづくり <p>●地域内農業者の共同生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産技術の農業者を中心に共同生産組織を構築
	林業分野	<p>1 提案型集約化施業の推進【P. 23、24】</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林経営計画作成、森の工場の促進 <p>2 担い手確保・育成【P. 26】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑の雇用事業活用（H31 緑の雇用新規3名） 森林環境譲与税を活用した新規就業者への支援 <p>3 四万十ヒノキのブランド化【P. 2、6、23】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十ヒノキブランド化協議会との連携（四万十ヒノキ強度測定試験の実施） 「四万十ヒノキCLTの屋根構造」の公開実験と完成見学会でのPR 四万十ヒノキの家見学 宿泊者延263名、見学238名（12月末） 高知もくもくランド、幡多山もりフェスでPR <p>4 健全な森づくり【P. 25、27、28】</p> <ul style="list-style-type: none"> 獣害防護柵設置支援、有害鳥獣捕獲支援、新規狩猟者の確保 <p>5 体験事業【P. 6】</p> <ul style="list-style-type: none"> 間伐体験（協働の森づくり） 	<p>「四万十ヒノキCLTの屋根構造」公開実験と完成見学会（明星建設事務所）</p>
水産分野	<p>1 水産資源の回復等【P. 29】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境調査等：栽培環境（水温・塩分）、アユ冷水病、アユ仔魚調査 漁場整備：アユ、イセエビなど 種苗放流：アユ、ツガニ、うなぎ、アメゴ、ヒラメ <p>2 資源管理【P. 30】</p> <ul style="list-style-type: none"> てながえび類の禁漁（9月～3月：県内水面漁場管理委員会） 禁漁期間の周知 <p>3 体験教室等【P. 31】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川漁体験、四万十川ガキ、水辺の楽校、親子川漁、放流体験など <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産物の高付加価値化の推進（四万十天然鮎を活魚で出荷：豊洲市場、新商品開発など） 魚食文化の磨き上げと発信（グルメイベント等での商品販売・PRなど） 	<p>鮎の稚魚放流</p>	<p>■四万十鮎のブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十川漁業振興協議会において協議 <p>■環境調査等</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培環境調査、アユ調査など <p>■種苗放流</p> <ul style="list-style-type: none"> アユ、ツガニ、うなぎ、アメゴ <p>■漁業体験メニューの開発</p> <p>■体験教室等</p>

3 平成31年度（令和元年度）の各産業分野の動き②（主なもの）

分野	平成31年度（令和元年度）	令和2年度																																				
商工業分野	<p>1 商店街の活性化等【P.3、11、32～34】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧土佐銀行跡地開発：「Shimanto+Terrace はれのば」整備（プレオープン：R2年3月23日（月）） チャレンジショップ（3件）、空き店舗対策事業（1件） 各種イベント開催（公家行列、ジュニア駅伝、まち歩き人生ゲームなど） <p>2 「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業【P.1、3、5、9、11】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月フェア開催、商品開発、外商活動、HACCP研修、食品表示講習会 H30 レジ通過者187千人、販売価格1億9,971万円 <p>3 新食肉センター整備【P.4、5、6】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備検討委員会の開催、先進地視察、用地測量など <p>4 西土佐地域産業振興協議会【P.1、8、9、12】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催、四万十牛・西土佐地域の魅力PR行脚実施 西土佐を巡るモニターツアーを企画（3月実施） <p>5 地元消費拡大等【P.1、3、13】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西土佐産業祭・四万十うまいもの商店街合同開催（12月：来場者3,000人） 道の駅フェア、四万十花紀行など <p>6 外商活動【P.2、9】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売フェア、物産展、商談会へ参加 <p>7 施設の長寿命化・南海地震対策【P.32】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化・耐震工事、住宅耐震改修支援、施設の新設など <p>8 企業誘致【P.34】</p> <ul style="list-style-type: none"> ソウルドアウト(株)地方拠点「デジタルオペレーションセンター四万十」開所（1月） 12名雇用（正社員：市内2名、契約社員市内：6名、市外4名） 	<p>商談会の成約件数等</p> <table border="1"> <caption>商談会の成約件数等</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>商談会数</th> <th>延出展者数</th> <th>成約件数</th> <th>取引額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>48件</td> <td>11,345千円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>41件</td> <td>3,207千円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11</td> <td>22</td> <td>61件</td> <td>19,520千円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>14</td> <td>25</td> <td>70件</td> <td>34,847千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>73件</td> <td>34,576千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>101件</td> <td>14,607千円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	商談会数	延出展者数	成約件数	取引額(千円)	H25	7	14	48件	11,345千円	H26	9	16	41件	3,207千円	H27	11	22	61件	19,520千円	H28	14	25	70件	34,847千円	H29	16	26	73件	34,576千円	H30	15	23	101件	14,607千円	<p>商店街の活性化等</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Shimanto+Terrace はれのば」グランドオープン：R2年4月10日（金） はれのばを拠点に中心商店街へのシャワー効果のある事業を実施 中心商店街活性化に向け、地域おこし協力隊を1名配置 チャレンジショップ、空き店舗対策 各種イベントの開催 など <p>道の駅よって西土佐（(株)西土佐ふるさと市）</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月フェアの実施、商品開発の推進 リバービュープロジェクトを中心施設として実施 <p>新食肉センター整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計など <p>地元消費・外商の推進【地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売フェアの開催、商談会等への出展 県外事業者等の拠点施設を活用した外商活動 <p>施設の長寿命化・南海地震対策</p> <p>企業誘致、シェアオフィス整備の推進</p>
	年度	商談会数	延出展者数	成約件数	取引額(千円)																																	
H25	7	14	48件	11,345千円																																		
H26	9	16	41件	3,207千円																																		
H27	11	22	61件	19,520千円																																		
H28	14	25	70件	34,847千円																																		
H29	16	26	73件	34,576千円																																		
H30	15	23	101件	14,607千円																																		
観光分野	<p>1 滞在型観光の推進【P.7～9、36～40】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種観光イベントの開催、観光動向・外国人アンケート調査、2次交通の充実、観光ガイド育成など 宿泊特典共通割引券、スタンプラリーの実施（旅館組合・観光協会） スポーツツーリズムの推進 四万十市スポーツ合宿支援事業補助金の創設（H31補助活用：4件見込） （2泊以上かつ延50泊以上、1泊1,000円、上限10万円） <p>2 観光商品のセールス・情報発信【P.7、8、11、12】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会、旅行会社訪問、セールス活動、イベント出展（四万十市観光協会、幡多広域観光協議会など） <p>3 観光施設整備【P.36】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十ひろばオートキャンプ場整備（カヌー館） 施設概要（区画数：20サイト） ① リバービューサイト：7サイト ② レギュラーサイト：7サイト ③ セミフリーサイト：6サイト ※オンライン予約システムの導入（既存予約サイト活用） 四万十流域サイクルロード整備プロジェクト（企業版ふるさと納税） <p>4 広域観光推進【P.7、8、11、14、39】</p> <ul style="list-style-type: none"> リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～と連携 一般旅行、スポーツツーリズム、教育旅行、国際旅行の強化推進（幡多広域観光協議会） 	<p>四万十ひろば</p>	<p>自然体験型観光資源強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十ひろばオートキャンプ場オープン（令和2年4月19日（日）） オープニングイベントでバーベキューを実施 リバービュープロジェクトの実施 観光商品のセールス・情報発信 リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～2ndシーズンとの連携 <p>2次交通の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 川バス、しまんとあしずり号、市内（市街地等）周遊バスの運行など <p>スポーツ合宿支援補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内宿泊施設、スポーツ施設を利用した合宿を支援 <p>地域おこし企業人交流プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> おもてなし向上、情報発信など <p>ONSEN・ガストロノミーツーリズム【地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ガストロノミーウォーキングの実施、PV制作 <p>四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業【地方創生】</p>																																			



①整備面積：642.08㎡	③テナント 飲食店4店舗予定 (68.93㎡、各8席)	④その他施設 ・公共スペース ・公衆トイレ
②直営カフェ：cafe n2 (面積134.42㎡、58席) 11:00～18:00 月曜定休		